

令和2年6月

小児科に通院中の患者さまとご家族の方へ(臨床研究に関する情報)

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた血液を使用することによって行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 牛乳特異的 IgE 陽性者の牛乳アレルギー診断における好塩基球活性化試験の有用性

【研究代表機関名・研究代表者名】 北海道大学病院小児科・山田雅文

【共同研究機関】 市立札幌病院小児科（責任者：佐野仁美）、さとう小児科（責任者：佐藤大介）

【研究目的】 血液中のアレルギーに関係する「好塩基球」の反応を見る検査（好塩基球活性化試験）が、牛乳アレルギーの患者さんを正確に判定できるかどうかについて明らかにします。

【研究方法】 食物アレルギーなどで小児科を受診された小学生以下の患者さんのうち、血液検査が予定されていた方が対象です。研究に同意していただいた方からアレルギー歴など問診情報をいただき、血液検査で総 IgE 抗体価、特異的 IgE（牛乳・カゼイン・大豆・シラカンバ・Glym4）抗体価を測定し、好塩基球活性化試験を行います。

【個人情報の取り扱い】

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

※上記の研究に診療情報を利用することをご了解いただけない場合は、ご連絡ください。

【お問い合わせ先】 北海道札幌市中央区北 11 条西 13 丁目
市立札幌病院小児科 佐野仁美